

Import Parameters Mapper の使い方

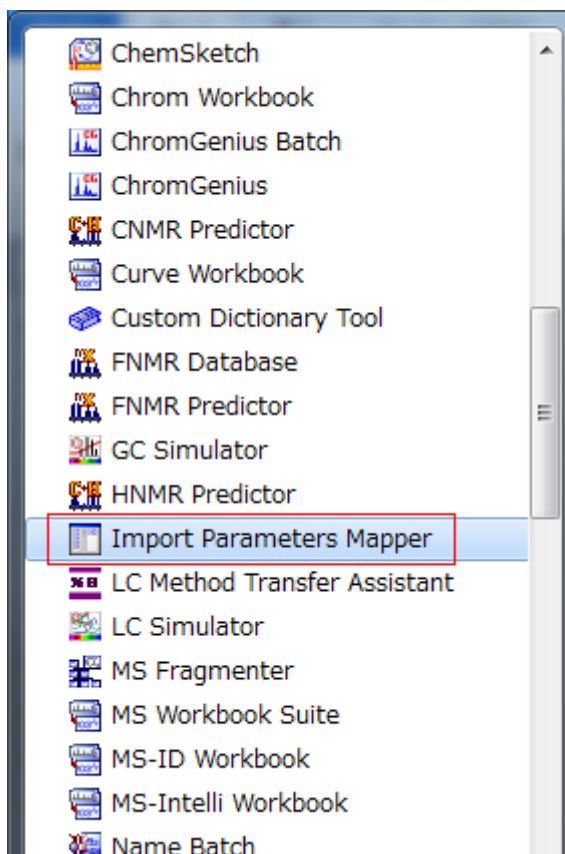
富士通株式会社
テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部
HPC アプリケーション統括部
TEL:043-299-3680 FAX:043-299-3011
E-MAIL: tcsu-acd@ml.css.fujitsu.com

◆ はじめに ◆

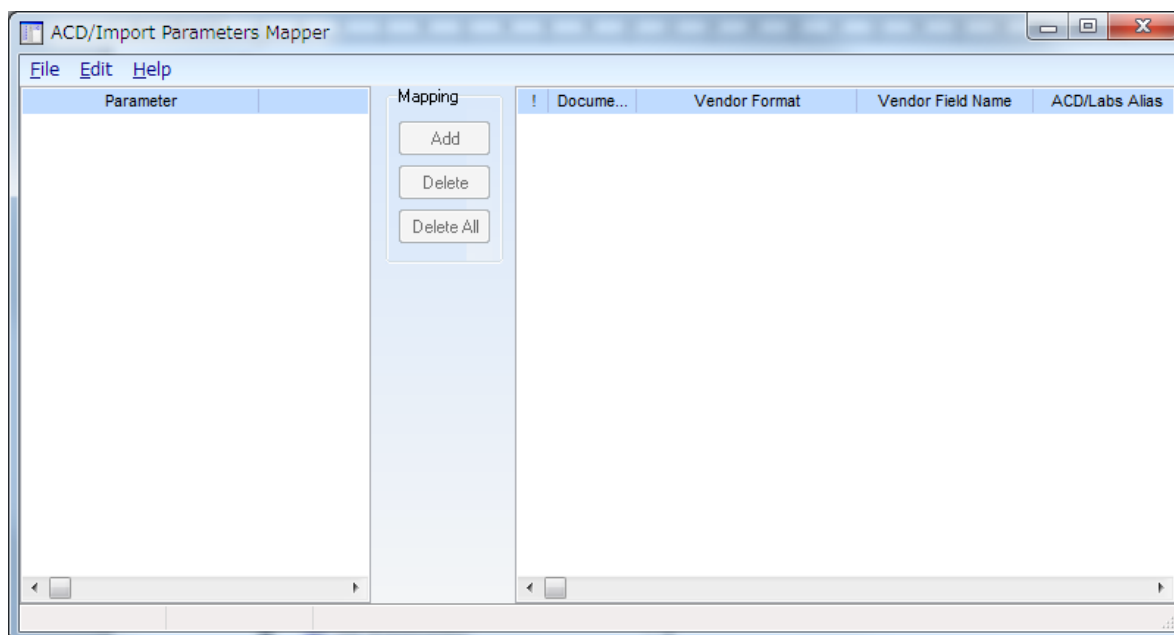
本ガイドでは ACD/Labs Spectrus Processor v2014 の Import Parameters Mapper の基本操作を紹介します。このツールはデフォルトでは取り込めないスペクトルファイル上のパラメータを取り込める様にするツールです。

◆ 操作 ◆

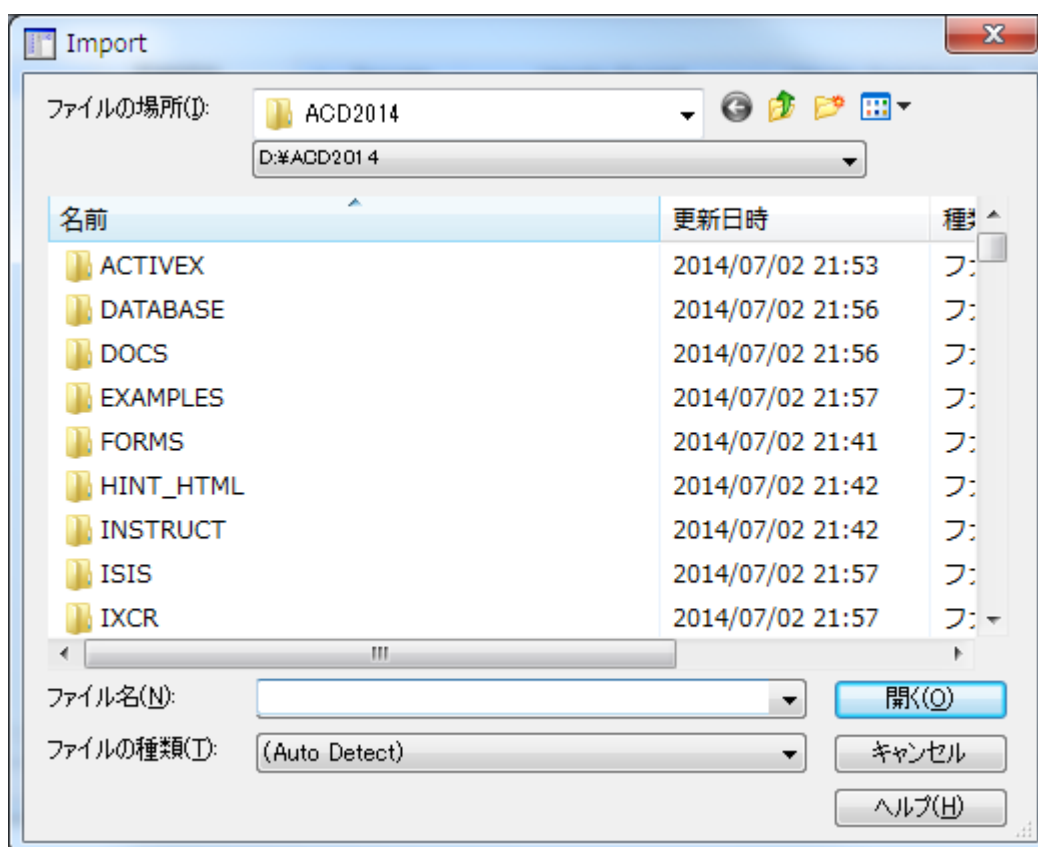
1. スタートメニュー | ACD/Labs 2014 | Import Parameters Mapper を選択します。



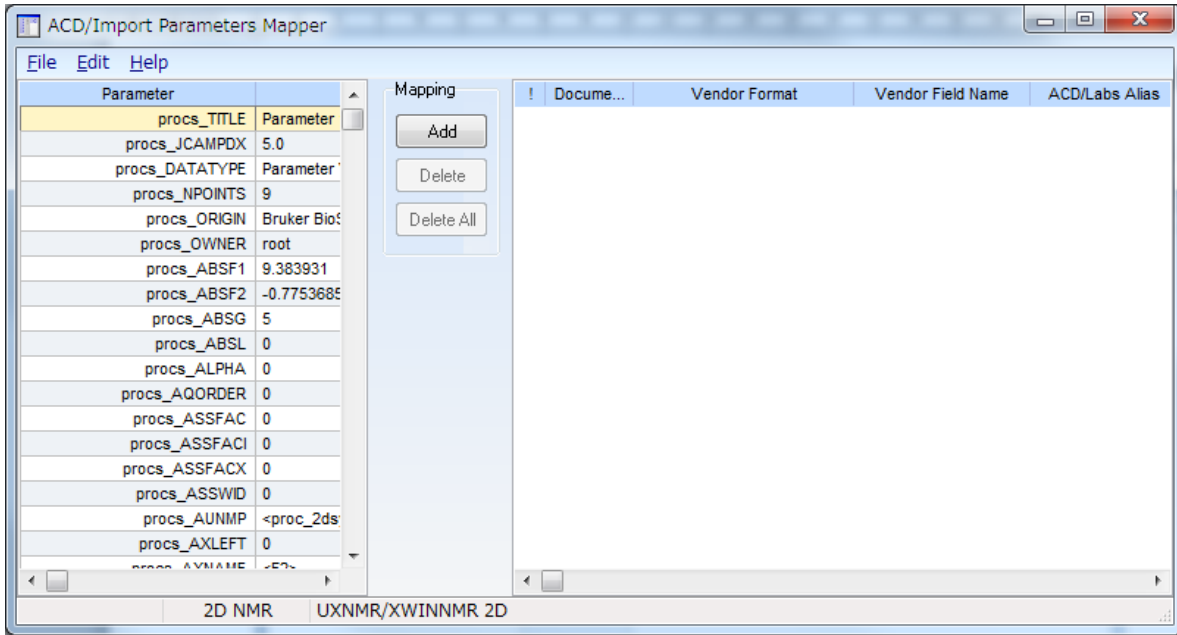
2. ACD/Import Parameters Mapper ウィンドウが表示されます。



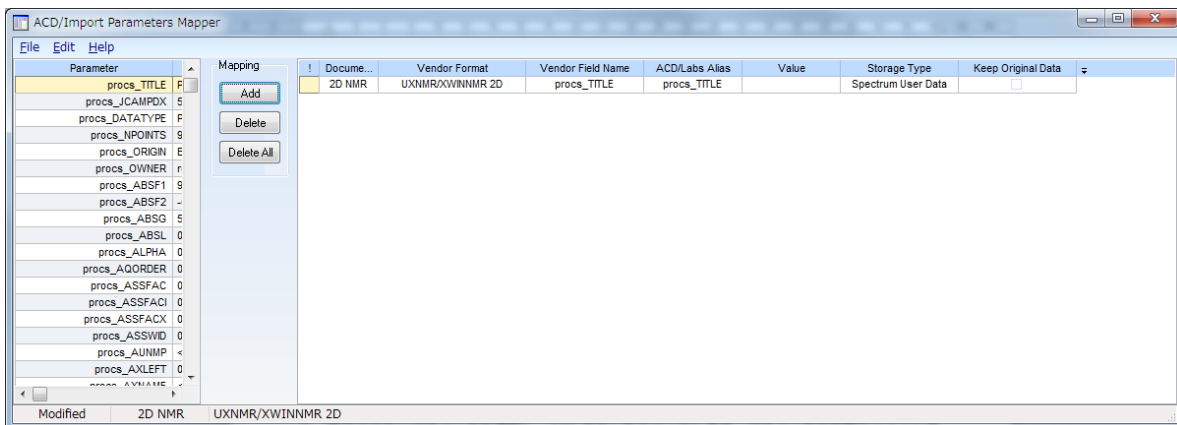
3. 対象のファイルを読み込みます。File|Import Document...メニューコマンドを選択します。Import ダイアログボックスが表示されます。



4. 取り込みたいファイルを選択し、開く(O)ボタンをクリックします。取得可能なパラメータが表示されます。



5. 取り込みたいパラメータを選択し、Add ボタンをクリックします。パラメータが右側のリストに追加されます。

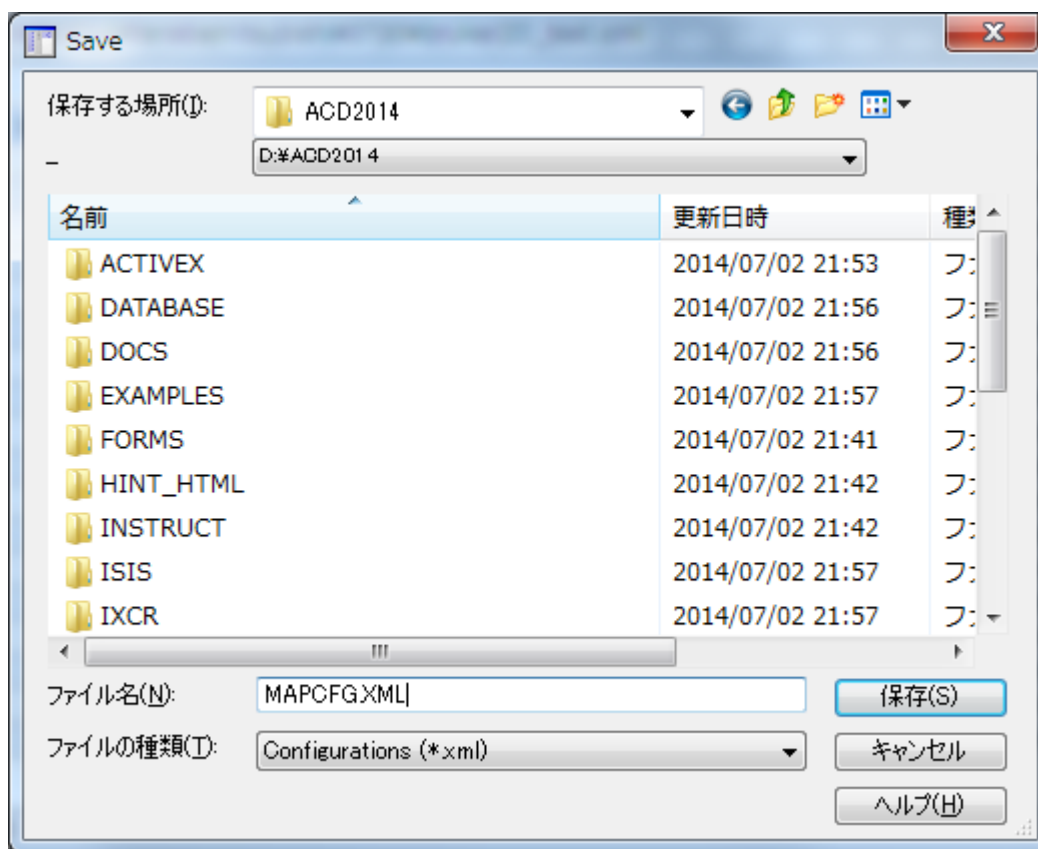


6. 各項目を編集し、取り込み方法を設定します。各項目は以下の様になっています。

項目名	機能
!	編集可能なデータかどうか指定します。ダブルクリックで"!"が表記されると編集不可となります。
Document Type	分析手法名が入ります。
Vendor Format	ベンダーフォーマット名が入ります。
ACD/Labs Alias	元のパラメータ名をこの値に変更します。
Value	取得する値
Storage Type	格納する場所
Keep Original Data	選択された場合、パラメータ名と値が元のまま使用されます。

7. 必要な項目が全て入る様に操作します。

8. File|Save Configuration...メニューコマンドを選択します。Save ダイアログボックスが表示されます。



9. ACD がインストールされているフォルダにファイル名を“MAPCFG.XML”と設定し、保存(S)ボタンをクリックします。
10. Spectrus Processor を起動し、対象のファイルを読み込み、設定したパラメータが取得出来ていることを確認します。

以上操作は終了です。